

第9回

糸が紡ぎ出す音楽 ～弦楽器に親しむ～

学習のねらい

弦楽器は、木製の共鳴箱に糸（弦）を張り、それをこすったり、はじいたりして音を出す楽器の総称です。こすったりする楽器を擦弦楽器といい、音量や表現の多彩さからもオーケストラの中では中心を占める楽器群となり、17世紀ごろから用いられています。



講師
青島 広志

ヴァイオリンを通して弦楽器のしくみを知る

皆さんは、オーケストラの演奏を見たことがありますか？ オーケストラは日本語で管弦楽と呼ばれますが、オーケストラの前方にたくさん並んでいるのが弦楽器です。弦楽器には大きく分けて2つあります。

木の共鳴箱に張った、動物の腸をより合わせたりスチールでできた弦を弓でこすって音を出す擦弦楽器と、指ではじく撥弦楽器があります。オーケストラにとり入れられているのは、ヴァイオリンの仲間である擦弦楽器で、撥弦楽器としてはハープがときに使われるにすぎません。

ヴァイオリンは左手の指で弦に触れることによって振動する長さを調節して音高を作り、右手に持った弓を動かして音を出します。ヴァイオリンはオーケストラの弦楽器の中では最も高い音域を担当する楽器で、ピアノの鍵盤の中央より少し低い「ソ」の音から上に、ほぼ4オクターヴの音域を持っています。弦楽器の最高音は演奏者の技術によって多少変化するものです。

チェロを用いて弦楽器の種類・音域を知る

オーケストラで用いられる弦楽器は、人間の声と同じように構成されています。女性のソプラノとアルトにあたるのが、第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリン。男性のテノールにあたるのはヴァイオリンより少し大きいヴィオラになります。バスは、さらに大きいチェロ（正式にはヴィオロンチェロ）で、足の間にはさんで弾きます。最後に登場するのはチェロよりさらにオクターヴ低い音が出る大型のコントラバスで、立って演奏します。このように楽器は、大型になるほど低音域が出せるようになっています。

ヴァイオリンはト音記号、ヴィオラはハ音記号、チェロとコントラバスはヘ音記号で楽譜を表すのが普通です。

ヴィオラはピアノの中央より1オクターヴ低い「ド」から、チェロはその1オクターヴ下の「ド」から、コントラバスはさらに下の「ミ」が最低音になっています。



合奏を通じてアンサンブル（コンソート）の楽しみを知る

音楽の楽しさは、気のあった人間同士が集まって合奏したり、それを聞いたりすることでしょう。こうした合奏を一般にアンサンブルといいますが、正確には管楽器と弦楽器のように違った種類の合奏をさし、同じ種類の楽器同士の場合をコンソートと呼びます。

人数によって三重奏・四重奏……となりますが、いずれも均質な音質が味わえます。特別な音色を作り出すために、弓ではなく指で弦をはじくピッツィカート奏法や弓で弦を細かくこするトレモロ奏法などがあります。特にピッツィカート奏法は弦が太いほどその効果が出ます。また、本来の最高音を超える高さを出すためには、指二本で弦に触れて倍音を作り出すフラジオレット（ハーモニックス）奏法もあります。

ワードファイル

撥弦楽器……ハープ、ギター、リュートのように直接、弦を指ではじいて音を出す楽器。音量が弱いためオーケストラに用いられることはまれです。

ハ音記号……ハ音記号は中音域を記すための記号です。ハ音記号は、五線譜の第何線に位置しているかによって呼び名が変わり、ヴィオラの場合はアルト記号といえます。

弓……擦弦楽器に用いられ、木製の棒に馬の尻尾の毛を結んで作られています。

♪ 今回取り上げる曲 ♪♪

- セレナード ト長調「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章
：モーツァルト 作曲
- チャールダーシュ
：モンティ 作曲
- 愛のあいさつ
：エルガー 作曲
- 組曲「動物の謝肉祭」から白鳥
：サン＝サーンス 作曲
- 翼をください
：村井邦彦 作曲 青島広志 編曲